



QFN通信

Qshu Forest Network News

NPO法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 理事長 佐藤宣子

新年明けましておめでとうございます。本年も理事や会員の皆様のご協力の下、九州の町と山々を結ぶ活動を展開して行きたいと思っております。どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。

お正月のテレビを見ていますと、例年よりも環境問題を扱った番組が多数ありました。今年が「京都議定書」の第1約束期間の初年度だからですし、実際、昨年からの温暖化や資源枯渇の影響を日常の生活の中で強く感じるようになってきたためだと思われまふ。炭素の吸収源としての森林の役割に一層関心が高まると同時に、いかに化石エネルギー依存の生産や生活を見直すのかが問われる時代になっています。森林、特に九州の森林の約6割を占める人工林をどう伐採し、利用し、更新するのか、方法如何では環境にも地域社会にもプラスにもなるし、マイナスにもなります。

本QFN通信では、球磨村で山づくりに関して議論した第8回フォーラムの報告、そして木組みの家の可能性を論じる第9回フォーラムin 鹿児島の案内などを掲載しています。8、9回と少々専門的な話題ですが、町の人が山づくりのことを、山の人が建築のことを学びながら、自分たちができること、すべきことを議論することによって、新たなネットワークが広がることを期待しています。鹿児島のフォーラムに是非、ご参加下さい。

今年一年の会員皆様方のご健康とご活躍を祈念しております。



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」

第7号 since2005.6.1

発行日 2008. 1. 1

<発行>

NPO九州森林ネットワーク

本部：熊本県小国町

<編集責任>

宮崎・諸塚オフィス

<担当オフィス>



目次

第8回九州森林フォーラムの報告	2～3
サテライトNEWS	4
ネットワークオフィス 会員紹介	5
第9回九州森林フォーラム のお知らせ	6

第8回九州森林フォーラムの報告 平成19年10月12日～13日 川、そして海につながる森林づくり～人工林施業について考える～

熊本県球磨村にて開催されました。今回は、流域環境に配慮した森林のあり方について、九州各地の方々や遠くは名古屋からも参加され、延べ108名の参加者があり、多くの方の意見を聞くことが出来ました。

第 1 部 10月12日(金)

■現地見学会

球磨村森林組合の林業作業現場を見学しました。機械での間伐、搬出の様子を見学した後、フォーラムのポスターにもなった沢見展望所で一息ついて、NHKのクローズアップ現代でも取り上げられた皆伐放棄地を見学しました。

第 2 部 10月13日(土)

■基調講演 (社)日本森林技術協会 技術監査役 藤森隆郎氏

「流域環境に配慮した森林の管理と経営」

森林と適切に付き合うことの意味や、森林の機能、構造、配置、管理施業法、地球環境保全のための森林管理の考え方など、豊富な内容でのお話しとなりました。

■体験発表

球磨村森林組合 蔀 初美 森林整備部長
熊本森林ボランティアネット 藤本浩二氏
球磨川ライン木の家ネット 井本一治氏
やまんたろうかわんたろうの会

それぞれ皆様の体験に基づき、山や川の問題点や今後の取り組みなどの発表が行われました。

■ワークショップ

10グループで、今回のテーマについて議論し、短い時間でしたが、町側と山側の視点からの考えや、森林や川の役目など内容の濃いものとなりました。



～参加者からのコメント～

★藤森先生の話、図書よりわかりやすいもので、国民に伝える機会をどんどん増やしたい。そのためにも、自分自身をもっと考え、理解し、他者へ説明できるようになりたい。(30歳代)

★水(生態系)の視点からの具体的な人工林施業の方法論にもう少し踏込んで良かったのではないかと山側+工務店から情報、意見を発する重要性を感じます。(森林ボランティア 40歳代)

★いろいろな立場の方々との意見交換が出来た事で、私自身新たな発見をすることができました。今日の皆様の意見を参考として、今後も森づくりにおいて、できる範囲で取り組んで行きたいと思っている。(30歳代)

★「手入れをしていない山主が多い」との言葉が多かったので、非常に残念でした。皆さんの想いが活動というのは、本当に素晴らしいです。それは是非誇りに思ってもらいたい。ただ、「手入れをしない」という言葉と「手入れが出来ない」と言う言葉は全く違っていると思う。「森林ボランティア」という何か響きの良い言葉だけで、本質が少し忘れがちになっているのかもしれない。「何故、この様な森林が増えたのか？」この入口から入って気づいて頂けるとそれぞれの“想い願いが、ここに結晶”すると考えます。もっともっと勉強して、出来る事は何か？何の為にやるのか？を明確にし活動を続けて下さい。(森林組合関係 50歳代)

★今まで全く森林とは縁のない生活を送っていたので、今回多くの方の話を聞けるようになりました。やまんたろう・かわんたろうの方のパワフルさには圧倒され、ワークショップは1時間という時間の中で様々な立場の方と意見交換ができて初めは戸惑いもありましたが、最後この機会が与えられてよかったと思いました。森林のみならず山菜等の資源についても取りあげていただけると面白いかなと思っています。(学生 20歳代)

～事務局から～ 小国町森林組合 秋吉

★球磨村は高速で通った時に山が凄いなと思ってはいたのですが、立寄る機会もなく、現地見学会で初めて現地に行きました。思ったより斜面は急で、植付、下刈、間伐、枝打、どれをとっても作業をされる方は大変そうで、小国の山とはぜんぜん違っていました。

又、基調講演では藤森先生の話はわかりやすく、人にもネットワークがあるように生態系にもネットワークがあるという言葉が心に響きました。森林組合に勤めていながらあまり流域環境に配慮した森林管理をしていなかったように思います。これから木を植付けすることからでもはじめていけたらと思っております。

本当に有意義な時間が過ごせ有難うございました。



サテライトNews イベント紹介

「森林認証『SGEC』緑の循環取得にあたって」 小国町森林組合

地域の木材を守り、活かすために取得した森林認証。取得後1年がたち、色々と試行錯誤しながら、これまでやってきた。森林認証住宅ネットワーク「小国杉の家」も設置し、窓口を一つにしたことで、消費者にはっきりと顔を見せることができ、自然素材を使った木造住宅がいかに健康に良いのかもPRしてきた。メンバーも実際の小国杉を見て、使いその良さもわかってもらった事で、より一層小国杉への愛着が湧き、メンバーが一体となって宣伝をして行くようになった。しかしながら消費者には木材はどこのもので変わらなく一緒だとの認識が強く、ましてや認証となると更に認知度が低くなっている。説明不足の点もあると思うが、認証だけではインパクトにかけることがわかった。

私は、1年目はきっかけづくりで2年目、3年目から真価が問われるところであると思い、認証に色々と肉づけすることで、小国杉がより強力なものになってくると思った。強さ、見た目、匂い、調湿性などをデータとして数値で表すことやエコ的な取組みを実施している事が消費者にとって一番判りやすくPRできると思った。

一方では、森づくりもきちんとして行く必要があり、徹底的に山の間伐、保育をし、敵地適木で経済林と自然林を融合させた森づくりを目指して行く。そのためには、林家に材価の跳ね返りが必要であり、消費者にもその部分を十分判ってもらえるよう働きかけをして行く。

認証で地域材の需要拡大を目指すためには、国も認証取得した地域、工務店、認証を使って建てた消費者へ何らかの優遇措置の法案を設置してほしいと願うところである。

世界森林認証祭り「森の恵みの感謝祭」

テーマ～「ほんものを食べるなら山へ出かけよう！家をつくるなら森へ行こう！」

環境破壊につながる地球温暖化が深刻な問題となって、遠い未来や遠い国のことではなく身近なことから始めるエコライフが叫ばれています。注目されるのは、環境を守る森からつくられる森林認証製品です。紙、木材、しいたけ…さまざまですが、その選択は、日常生活の質を高めながらエコライフへ向かう近道となります。

世界森林認証祭りで、環境にやさしい森づくりを身近に感じ、楽しい、美味しい、豊かな森を見つめてみませんか！

■ 平成20年3月16日（日） 10:00～14:00 ■

場所 宮崎県諸塚村 諸塚木材加工センター

- ・肉厚のFSCしいたけを使って、一流シェフがく美味しいしいたけ料理実演>
- ・しいたけ、山菜をふんだんに使ったくきのこ汁も振る舞い>
- ・しいたけをつくるホタ場で、原木生しいたけ採りを体験できる企画。美味しい諸塚しいたけのまさしく詰め放題！
- ・<スギの大黒柱プレゼント>感謝祭で諸塚村産直住宅ご予約の方に
- ・<自然乾燥木材生産現場見学>諸塚村産直住宅の素材は、伐り匂を守り、山に葉をつけたまま寝かして乾燥させる、昔ながらの葉枯らし乾燥木材を使っています
- ・<自然派の家づくり相談会>木の家をつくるにはお悩みの方向けに住宅相談会。設計事務所・工務店など諸塚村産直住宅のネットワークの方々が、無料で様々なご相談に応じます
- ・<森のクラフト体験>木の枝や石ころなど自然素材を使った、子ども大人も手軽に出来るクラフト体験教室！

詳しくは <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>



新理事自己紹介①

宮原 和明（長崎総合科学大学工学部建築学科教授）

九州森林フォーラムの理事になって約1年になりますが、皆さんから多くのことを学びたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

長崎市主宰の長崎伝習所事業の環境ネットワークながさき塾の代表として市民の皆さんと活動を始めて7年になります。その間、地元はもちろん全国の環境NGO活動団体の方々ともネットワークができ、九州森林フォーラムもその1つです。いま取り組んでいるのは脱温暖化社会づくりです。地域の環境と経済が両立し、持続可能な地域社会づくりは、主役は自治体でその過程において、どの分野でも市民が行政に参画できる仕組みづくりと異なるセクター（行政、事業所、NPOなどの市民）が一緒になって、それぞれの立場を理解し、違いを活かしつつ、パートナーシップ（協働）を深化させることが重要だと考えております。長崎県は地球温暖化防止のCO2吸収源対策として森林環境税を導入しました。これが森林管理の徹底と山とまちを結ぶ木材の地産地消の仕組みづくりのきっかけになればと考えております。

長崎県内の会員は7人で建築関係が多いので、当面はもっと輪をひろげて地域活動ができるような場をつくれたらと思っております。

九州森林ネットワークオフィス

- <本部>熊本・小国町：小国町森林組合内 ☎0967-46-2411 FAX 0967-46-5474
〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原1802 oguni@galaxy.ocn.ne.jp
- <サテライトオフィス>
- 福岡：九州大学大学院農学研究院内 ☎092-642-2876 sato@ffp.kyusyu-u.ac.jp
- 大分・上津江：(株)トライ・ウッド内 ☎0973-55-2657 info@try-wood.com
- 宮崎・諸塚村：産直住宅推進室事務局内 ☎0982-65-1116 tyabusa@morotsuka.jp
- 福岡・久留米市：西村工務店内 ☎0943-72-2256 info@morino-ie.com
- 鹿児島・建築工房 自然木内 ☎099-812-5701 jinenmoku@nifty.com
- 沖縄：(株)幸和内 ☎098-936-9231 odo@tokukei.com
- 福岡：川崎建築構造設計事務所内 ☎092-574-8544 kawa2892@joho-fukuoka.or.jp
- 北九州：(有)ウッディ工房内 ☎093-692-5430 k-shimasaki@woody-koubou.com
- 大分：ミウラクワノパートナーシップ(有)内 ☎097-504-3087 RXA04312@nifty.ne.jp
- 北九州：(株)安成工務店内北九州支店 ☎093-475-2323 kitakyusyu@yasunari.co.jp
- 熊本：球磨川ライン木の家ネット ☎0965-35-8430 imotokmt@vesta.ocn.ne.jp
- 佐賀：内川工務店内 ☎0952-23-9204 hazama-9204@hi.enjoy.ne.jp
- 長崎：長崎総合科学大大学院 ☎095-839-3111
- 熊本・球磨村：多武義治 ☎0966-34-0520
- 宮崎・都城市：蔵留製材所内 ☎0986-62-1038
- 福岡・うきは市：浮羽森林組合内 ☎0943-77-2158

最後に私の作品を紹介します。専門は環境工学ですが、ものづくりはホールの音響デザインを手がけております。ホールは大きな楽器づくりだとも言われています。繊細でわずかしいところがありますが、いつか木造ホールをつくりたいという夢もっています。今後ともよろしくお願いいたします。



新理事自己紹介② 樋口哲也（浮羽森林組合参事）

浮羽森林組合では、緑と人との循環サイクルの構築を目指しています。地域森林・林業の担い手として、単に林業を行うだけでなく、高齢化した森林所有者が安心して林業経営を行える基盤づくり（安定収入の確保）や、うきは産材（耳納杉ブランド構築）を使った家造りの提案、また、世論の声にこたえるべく、森林ボランティア等のイベントを積極的に展開する等、うきはの森を中心に仕事を行うだけでなく、都市と農村とのパイプ役として広く活動しています。

都会の皆さんとふれあい、語り合う中で“新鮮な情報”を提供してもらい、エンドユーザーが求める木材や期待される森林の価値を見極め、理解する…その事が様々な形となって最終的に山元へ収入として還元される“緑と人との循環サイクル”であると考えております。

現在は、地元の木材を使用した、うきは市総合体育館建設用材の調査・確保に回っています。また、今までの林業・森づくりをいい意味で見直し、将来を見据えた森づくりや、未来の森林を担う子ども達と“森林”をフィールドとした活動等を展開しています。

★第9回森林フォーラム in 鹿児島のお知らせ★



- 開催日：平成20年2月29日（金）～3月1日（土）
- 会場：鹿児島市 かがしま県民交流センター 大研修室第2
- テーマ：「木組みの家」の可能性 ～風土の中で培われた匠の知恵を見直そう～

我々がこれまで住み続けてきた日本の伝統的な家は、それぞれの地域の豊かな風土の中で、長い時間をかけて培われた匠の技によって作られてきました。地元で産出する素材を使い、何代にも渡って住まれる家は、集落を囲う山々と共に、その地域らしい落ち着いた景観風景を形成してきました。

一方、現在一般的に行われている在来工法は、元々、戦後の物資の乏しい時に考えられた、最小限の資材で大量の住宅を供給するために考えられた工法でした。その後の震災等への対応で建築基準法や住宅金融公庫の仕様が改定され、筋交いと金物で軸組を固めることで耐震性を確保する工法に改良されました。木材の加工もプレカット工場で行われることが多くなり、工法の変化の中で、伝承すべき匠の知恵、技が忘れ去られようとしています。

日本の家は、本来、木組みの家としての構造的な美しさを持っています。意匠性だけでなく、川上川下が協力して作り上げてきた資源の有効活用、省エネルギー、環境共生などの今日的な課題に答えるエコロジカルな住宅生産システムとしても、伝統的な木組みを生かした家づくりが見直されています。

フォーラムでは、各地の伝統的な匠の技術を取り入れた家づくりを紹介いただきながら、木組みの家の可能性と留意点や素材に求める性能、高温乾燥や含水率の問題を、大工たちと蓄積してきた実大実験のデータも交えながら講演いただき、議論を進めたいと思います。

- 主催：NPO 法人 九州森林ネットワーク
- 共催：(財) かがしまみどりの基金、かがしまウッディテックフォーラム
かがしま地材地建グループ連絡協議会、鹿児島県木造住宅推進協議会
- 後援：鹿児島県、鹿児島県建築士会、南日本新聞社、北薩匠の家づくり協議会、熊本県、球磨村、球磨村森林組合、熊本県小国町、小国町森林組合、大分県(株)トライウッド、宮崎県、諸塚村、耳川広域森林組合ほか
- 参加費：フォーラム参加費無料 資料代 1,000 円（希望者のみ）
- プログラム 29日（金）13時 鹿児島市内 木の家見学会
18時 交流会（パレスイン鹿児島 4500円）
3月1日（土）フォーラム（かがしま県民交流センター）
講師：山辺豊彦（山辺構造設計事務所／東京都）
古川保（すまい塾 古川設計室／熊本市）
米谷良章（米谷良章設計工房／宝塚市）
- お問い合わせ・お申し込み
NPO九州森林ネットワーク事務局（小国町森林組合内）
Tel 0967-46-2411 FAX 0967-46-5474



新理事自己紹介③

蔵留福一（蔵留製材所）

今年度から役員になりました。霧島山の麓、都城市で製材所をしております。趣味は山登りです。林業において自分の知らないいろいろなこと、川上の素材業から川下の住宅産業まで幅広く勉強していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

